

かじおか香織のマニフェスト **第5弾**

子育てしやすいまちを目指します

その4 保育のDX

一時預かり事業を行っている保育園は、認可保育園（4園）、認可外保育園（1園）がありますが、事業を利用する保護者は事前に直接施設へ問合せなくてはならず、園の行事や保育士の配置等により、一時預かりが断られる場合もあります。また、預かる側の保育園は日々の業務に加えて予約状況を把握しなければならず、業務効率化に苦労することもあります。水戸市では、すでにWEBで一時預かりの予約ができるようになっており、守谷市においても一時預かり事業に予約システムを導入いたします。

また、こども家庭庁では、保育現場でのDXの推進として、保育業務のワンズオンリーと保活ワンストップサービスの構築を進めています。

保活ワンストップサービスが開始されると、保護者が保育園に関する情報を得たり、入園の申込みを行ったりする際に必要な手続きをオンライン上で一括して行えるサービスのことで、保育園探しは時間も労力も要する過程であり、特に働く親にとっては大きな負担となっていました。保活ワンストップサービスを通じて、保護者が必要とする情報へのアクセスを容易にし、申込みプロセスを簡素化することで、保育園選びのストレスを軽減されることとなります。

令和8年度に本格運用が見込まれますが、守谷市ではモデル事業に参加するなど、早期の運用を開始することで、子育て世帯の負担を大幅に軽減していきます。

実現したいこと
一時預かりの予約や
保育園に関する情報検索・入園申込みを
WEB上で処理できる
保育現場でのDX推進



今後のスケジュール

○各地域の対話集会

月日	会場	時間
10月6日(日)	郷州公民館	10:00~11:30
10月12日(土)	中央公民館	
10月26日(土)	高野公民館	



Profile
 ■昭和57年1月3日生まれ
 ■ひかり幼稚園(守谷市本町)卒園
 ■取手市立永山小・中学校卒業
 ■茨城県立土浦第一高等学校卒業
 ■東京女子大学 文理学部 英米文学科卒業
 ■元常陽銀行守谷支店 支店長代理
 ■2022年に第一子が誕生し、子育て奮闘中

女性市長と新しい守谷をつくる会
 〒302-0109 茨城県守谷市本町 257-5
TEL : 0297-38-5593
 FAX : 050-3145-2882
 E-mail : office@kaori-moriya.com
 Web : https://kaori-moriya.com

かじおか香織に共感して下さる方、ご支援して下さる方を募集しております。詳しくは下記のお電話・LINE・HPよりお問合せください。

QRコードから各種SNSにアクセスできます。

Instagram Facebook YouTube Twitter

討議資料

完全無所属



守谷市議会議員

かじおか 香織



民間企業17年の経験と女性管理職の実績を活かし、2歳児の母親としての視点から、子育て世帯に選ばれ続ける守谷を目指し、安定財源を確保したうえで、安全安心の高齢者福祉を実現します。

今こそ、流れを変えるとき!

マニフェスト第5弾 ●子育て施策の現状の課題………1~2p
【目次 CONTENTS】 ●かじおか香織が実現したいこと………3~4p

「子育てしやすいまち」へ

【子育て施策の現状】

第三次守谷市総合計画では、出産・子育ての希望をかなえる戦略として、「出産・子育てへの経済的支援」があり、「子育てを取り巻く経済的負担の軽減を必要とする人に対して支援することで、妊娠・出産したいと思う人の希望をかなえる環境を整備します」とされており、具体的な取組例には「新たな経済的負担軽減策の推進」とあります。

しかし、基本計画の「子育て支援の充実」では、「出産・育児・医療費については経済的負担軽減事業を行っていますが、今後新たな経済的支援施策の決定があった場合には、迅速な対応が必要」とあり、実現のための取組として「新たな経済的負担軽減策の検討」とされているにもかかわらず、実際は具体的な経済的負担軽減策については言及されていません。

「出産・子育てへの経済的支援」の指標である合計特殊出生率は、令和2年度の1.41から令和8年度に1.47にあげることが目標にしていますが、令和4年度は1.33と、令和2年度より0.08ポイント減少し、目標に対する達成率は90.4%となっています。

また、もう一つの指標である「松並青葉地区を除く0歳から9歳の子どものいる世帯の転入数」は、令和2年度の250世帯から令和8年度に280世帯にすることを目標にしていますが、令和4年度は233世帯と、令和2年度より17世帯減少し、目標に対する達成率は79.6%となっています。

合計特殊出生率も子どものいる世帯の転入数、どちらも令和2年度より減少しており、このままでは目標達成は難しい状況です。

出産・子育てへの経済的支援

成果指標

指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	令和4年度
合計特殊出生率	1.41	1.47	1.33 達成率 90.4%
0歳から9歳の子どものいる世帯の転入数 ※松並青葉地区を除く	250世帯	280世帯	223世帯 (240世帯) 達成率 79.6%

※()内は松並青葉地区を含む数値



① 医療費

守谷市の医療費では、中学卒業後から18歳の年度末までの医療費助成の対象が、令和3年に9月診療分までは入院のみとなっていました。令和3年10月診療分からは外来・調剤も助成対象となりました。しかし、これは現在の総合計画策定前の施策であり、その後、医療費分野での経済的負担軽減策はなされていません。

現在のマル福・すこやか医療では、外来診療では医療機関ごとに1日600円まで、月2回までの自己負担金が発生し、入院では医療機関ごとに1日300円まで、月3,000円までの自己負担金が発生しています。

② 給食費

守谷市の給食費は、小学校の児童は月額4,200円、中学校の生徒月額4,500円の負担があります。

茨城県内では小中学校の給食費を無償化する自治体が増加しており、日立市、北茨城市、潮来市、稲敷市、神栖市、城里町、大子町、河内町などではすでに無償化を実施、水戸市では2025年度から無償化、牛久市では2024年度より市立中学校5校が無償化、土浦市では2025年10月から2027年3月分まで市立の小中学校と義務教育学校（全23校）が無償化、鉾田市では2025年9月から市内の小中学校等が無償化する予定となっています。

③ 保育園利用者負担額

守谷市の保育園利用者負担額は、かじおか香織が6月議会の一般質問で質した内容が以下のように変更され実現しました。令和6年度後期分(9月分～3月分)から、保育所保育料の階層の細分化に伴い、一部階層の料金引下げを実施され、0-1歳児の場合、市民税所得割額が48,600円未満の世帯で9,000円、397,000円以上の世帯で66,000円、2歳児の場合、市民税所得割額が48,600円未満の世帯で7,000円、397,000円以上の世帯で47,000円となり、一歩前進しました。

但し、改革を更に推進する必要があると、他の自治体では、0-1歳児と2歳児という料金区分ではなく、第一子、第二子で利用者負担額を変えている場合が多く、下妻市では、市長村民税が48,600円未満の世帯で第一子は14,000円、第二子は7,000円、397,000円以上の世帯で第一子は39,000円、第二子は19,500円となっています。

④ 保育のDX

守谷市では家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、保育所その他の場所において一時的に預かる「一時預かり事業」を実施しています。第2期守谷市子ども・子育て支援事業計画による年度別見込量は、幼稚園及び認定こども園の在園児では、令和5年度推計は24,314人日、令和6年度推計は23,399人日、幼稚園及び認定こども園以外では、令和5年度推計は3,197人日、令和6年度推計は3,215人日であり、多くの子育て世帯で利用されています。

一時預かり事業は、保護者の就労、傷病、出産、看護、冠婚葬祭、その他一時的に家庭での保育が困難な場合、保育園で児童を預かる事業で、認可保育園（4園）、認可外保育園（1園）がありますが、利用の際は事前に直接施設へ問合せなくてはならず、園の行事や保育士の配置等により、一時預かりが断られる場合もあります。

預かり保育の予約方法は、電話やメール、直接来室して予約を受け付ける方法のみであり、保護者が預けたくても断られる場合があったり、保育園では日々の業務に加えて予約状況を把握しなければならず、業務効率化に苦勞することがあります。こうした課題を克服し、園の運営効率を向上させ、保護者の満足度を上げるために、予約システムの導入が有効な解決策として注目されています。水戸市では、すでにWEBで一時預かりの予約ができるようになっています。

また、こども家庭庁では、保育現場でのDXの推進として、保育業務のワンスオンリーと保活ワンストップサービスの構築を進めています。

保育業務のワンスオンリーとは、保護者からの情報提供や、子どもの健康状態、出席状況などのデータを一度入力すれば、それが各種報告書作成や連絡帳の更新、さらには自治体への提出資料作成など、複数の用途で利用できるようになることで、保育園は監査や給付のために書類を作成したり送付する必要がなくなります。

また、保活ワンストップサービスとは、保護者が保育園に関する情報を得たり、入園の申込みを行ったりする際に必要な手続きをオンライン上で一括して行えるサービスのことで、保育園探しは時間も労力も要する過程であり、特に働く親にとっては大きな負担となっていました。保活ワンストップサービスを通じて、保護者が必要とする情報へのアクセスを容易にし、申込みプロセスを簡素化することで、保育園選びのストレスを軽減します。こども家庭庁は令和8年度からの本格運用を目指しています。

※人日とは、人数×日数の意味で1人を1日預かる量が「1人日」となります

このような状況が続けば…

守谷市では、合計特殊出生率も子育て世帯の転入数、どちらも令和4年度は令和2年度より減少しており、現在の施策のままでは子育て世帯の増加が望みにくい状況です。

子育て世帯に住みやすい自治体として選んでもらうためには、医療費の無償化、給食費の無償化、保育園利用者負担額の軽減、一時預かり事業の予約システムや保活ワンストップサービスの実現など、今まで以上に子育て世帯の負担を減らし、子育てしやすいまちにしていけることが重要です。



かじおか香織が **ずっと住みたくなるまちへ**

実現したいこと



今まで以上に **子育てしやすいまち**にするために

4つのプロジェクトを進めます

その① 医療費の無償化

現在のマル福・すこやか医療の「外来診療では医療機関ごとに1日600円まで、月2回までの自己負担金が発生し、入院では医療機関ごとに1日300円まで、月3,000円までの自己負担金が発生する」自己負担額を無くし、**18歳の年度末までの医療費助成を全額無償化**といたします。

実現したいこと

18歳の年度末までの **医療費助成を全額無償化**



その② 給食費の無償化

守谷市の給食費は、小学校の児童は月額4,200円、中学校の生徒月額4,500円の負担があります。しかし、茨城県内では日立市、北茨城市、潮来市、稲敷市、神栖市、城里町、大子町、河内町などですですに無償化を実施、水戸市、牛久市、土浦市、鉾田市も今後、無償化の予定です。**守谷市においても、現在の負担額をなくし、全額無償化**といたします。

実現したいこと

小学校児童、中学校生徒の **給食費の全額無償化**



その③ 保育園利用者負担額の減額

保育園利用者負担額は、令和6年度後期分(9月分～3月分)から、保育所保育料の階層の細分化に伴い、一部階層の料金引下げを実施され、0-1歳児の場合、市民税所得割額が48,600円未満の世帯で9,000円、397,000円以上の世帯で66,000円、2歳児の場合、市民税所得割額が48,600円未満の世帯で7,000円、397,000円以上の世帯で47,000円となり、8割程度の利用者が減額となりました。

しかし、他の自治体では、0-1歳児と2歳児という料金区分ではなく、第一子、第二子で利用者負担額を変えている場合が多いことから、第一子、第二子での料金区分とし、**現在よりも負担額の減額をはかります。**

実現したいこと

保育園の利用者負担額を第一子、第二子での料金区分とし **保育園負担費の減額**

